

分野	科目名		配当年次	開講期
専門分野	看護に必要な基本技術Ⅲ		1年次	後期
単位数	時間	担当教員		実務経験の有無
1単位 (30時間)	30時間	長岡 由佳		有
<b>授業の概要</b>	人体の構造を理解していることを確認しながら、フィジカルアセスメントに関する知識・技術を習得することにより、看護の対象を総合的に評価し看護の実践に活用できる能力を養うことを目的とする。			
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護を実践する上でのフィジカルアセスメントの重要性を理解する。</li> <li>2. フィジカルアセスメントの要素について述べられる。</li> <li>3. アセスメントに必要な各技術の方法を理解する。</li> <li>4. バイタルサインの測定ができる。</li> <li>5. 各器官システムのフィジカルイグザミネーションの方法を理解する。</li> <li>6. フィジカルアセスメントを行い、事例の患者の状態を評価することができる。</li> </ol>			
<b>授業計画</b>	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	フィジカルアセスメントとは	講義	
	2	問診とフィジカルイグザミネーション（視診・触診・打診・聴診）の目的と方法	〃	
	3	意識状態を観察する意義・方法、呼吸器系の基礎知識	〃	
	4	呼吸器系のフィジカルアセスメント	〃	
	5	呼吸器系のフィジカルイグザミネーションの実施	演習	
	6	循環器系の基礎知識、循環器のフィジカルアセスメント	講義	
	7	循環器系のフィジカルイグザミネーションについて	〃	
	8	血圧測定に関する知識・方法について	〃	
	9	血圧測定の実施	演習	
	10	体温のメカニズムについて 体温測定について	講義	
	11	バイタルサイン測定の実施	演習	
	12	消化器のフィジカルアセスメント	講義	
	13	運動器のフィジカルアセスメント	講義・演習	
	14	シミュレーターによる呼吸機能障害がある患者のフィジカルアセスメント	演習	
15	シミュレーターによる循環器機能障害がある患者のフィジカルアセスメント	演習		
<b>評価</b>	筆記試験 90点：呼吸音の小テスト 10点（講義内でテストを2回実施）			
<b>参考文献</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック第2版 医学書院. 2011</li> <li>2) 落合亮一：ゼロからわかるバイタルサインの見かた 成美堂出版. 2014</li> <li>3) 堺 章：目でみるからだのメカニズム第2版 医学書院. 2016</li> <li>4) 中村充浩：わかる！使える！バイタルサイン・フィジカルアセスメント 照林社. 2019</li> <li>5) 医療情報科学研究所：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア. 2019</li> <li>6) 阿部幸恵：症状別 病態生理とフィジカルアセスメント 照林社. 2015</li> <li>7) 山内豊明：緊急度を見抜く！バイタルサインからの臨床推論 医学書院. 2023</li> </ol>			
<b>備考</b>	1月にバイタルサイン測定の技術チェックがあります。			